中国地方整備局管内一級水系の水質事故状況について

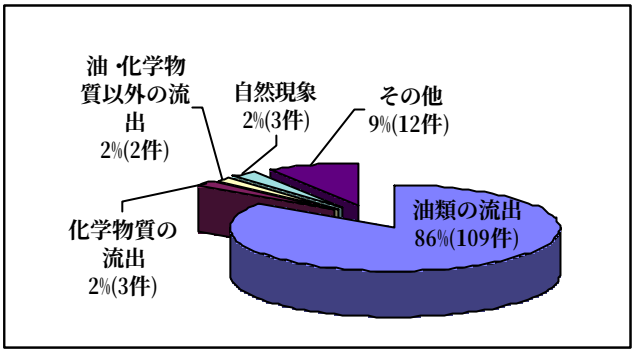
○発生件数は昨年並みで改善なし

平成１３年の水質事故発生件数は平成１３年１２月１２日現在１２９件です。昨年の全発生件数は１３６件で、現段階ではほぼ同様な状況となっています。

○原因物質

水質事故の原因物質は、油類を占めており、依然として油類が全体の８６％を占めており、依然として油類の流出が多い状況です。

（平成１２年原因物質：油類７６％、油・化学物質以外３％、その他１０％）

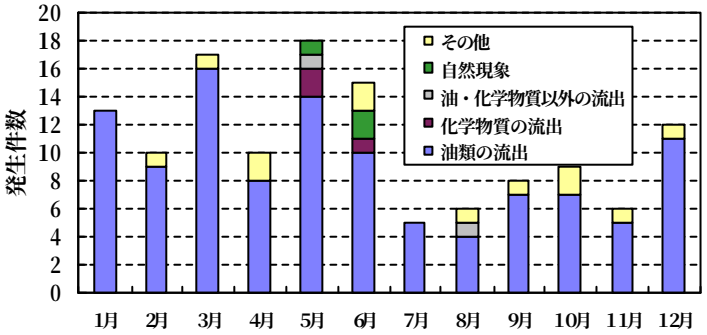


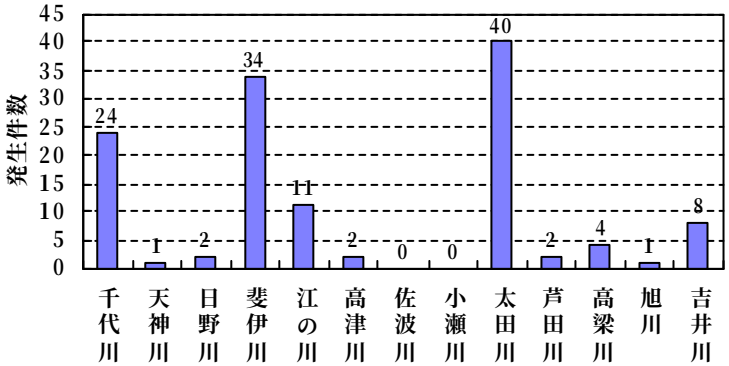
○月別発生状況

冬季にかけて、油類の流出事故の増加傾向がみられます。油類流出の主な原因は、燃料タンクのオーバーフローなどの給油中の不注意です。

これから、暖房器具等で油類を使用する機会が増えます。

給油時には十分な注意をお願いします。



○水系別発生状況

１２月１２日現在の水系別水質事故発生状況は右図のとおりです。